

# おひさま からだ

2018



vol.183

4

北見市立留辺薬小



## はいっポーズ!

《留辺薬地区》

春から新一年生の橋

来輝くん・坂下恭梧くん  
(紹介は2ページです)

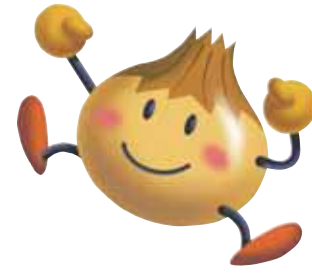
特集

親子で考えよう  
農業の事業承継



## 玉葱の育苗管理

### 季節の薫り



暖かな春の日差しが降り注ぐ3月下旬、JAきたみらい管内ではハウス内で玉葱の育苗管理が行われています。播種、伏せ込み作業が終わり、温度管理と水管理が続き、気の抜けない日々が続きます。

3月上旬の大雨でハウス内に水が入り込み、育苗シートが水に浸るなどの被害はありましたが、それを乗り越え順調に生育しています。

訓子府地区の岩本直樹さんは2月22日から3月7日にかけて播種を行い、今年は7.3ヘクタールの植付けを予定しています。岩本さんは「今年は災害がなく無事に収穫時期を迎えたい。豊作を願って作業をし、全国に安定供給できれば」と意気込みを話していました。

(菊池 光祐)

写真は3月31日、訓子府地区で撮影。

## 表紙紹介

### 4月からピカピカの1年生!

まだまだ肌寒い3月24日、今年新1年生になる2人が4月から通う北見市留辺蘂小学校に集まってくれました。同じ保育園に通っていた来輝(らいき)くん(来輝(きよ)くん)は22日が卒園式でしたが、小学校生活が楽しみなのか、新しいランドセルを背に校門前を元気に走り回っていました。

来輝くんは、お姉ちゃんが大好きで普段は2人で仲良く一緒に遊んでいます。昨年11月に産まれた弟の面倒も見ることができるようになりました。1年生になったら頑張りたいことは勉強です。

来輝くんはふたりのお姉ちゃんにいつも遊んでもらっていましたが、今は弟の面倒もよく見てくれる優しいお兄ちゃんです。1年生になったら算数の勉強を頑張ります。

留辺蘂小学校は今年3月から新校舎に変わりました。ピカピカの1年生たちを迎え、より賑やかな学校生活を楽しんでくれることでしょう。

(北島 太)



【ご家族の紹介】  
左から～おかあさんの橘美咲さんと来輝くん、おかあさんの坂下あゆみさんと来輝くん

## もくじ CONTENTS

特集1	親子で考えよう	農業の事業承継	.....	4
特集2	新採用職員紹介	.....	6	
○季節の薫り	.....	2		
○表紙紹介	「4月からピカピカの1年生!」	.....	2	
○地域だより	.....	10		
○ほのぼのの広場	.....	12		
・きたみらい青年部	.....			
・なかよし夫婦	.....			
・ブリティーウーマン	.....			
・わが家のアイドル	.....			
○JAからのお知らせ	.....	14		
○おひさまサラダクッキング	.....	24		
「針野菜たっぷりジャージャー麺」	.....			

# 農業の事業承継

農業経営の承継について親子で話し合ったことはありますか。承継について考えることは早ければ早いほど良いのです。先延ばししても避けて通ることはできません。この機会にしっかり考えましょう。

監修：全国農業協同組合連合会 耕種総合対策部 TAC 推進課 <https://www.zennoh.or.jp/tac/>



イラスト：ゆきたけし

## 日本の農業と事業承継について考える

### 避けて通れない事業承継

事業承継とは、一言でいえば、組織の財産や人材、権利、義務を受け継ぐこと。農業法人でも、集落営農組合でも、個人経営でも、全ての経営体で避けて通ることはできません。また、名義を変更すれば済むわけでもなく、農地や農機、設備、現金、預貯金など目に見える物と、技術、取引先や地域の人の人間関係、経営理念や農家としての誇りなど目に見えないもの（ソフト）も継ぐこととなります。農業に限らず、全ての経営体の選択肢は三つあり、それは（1）承継（継ぐ）、（2）売却（売る）、（3）廃業（畳む）です。これ以外に選択肢はありません。実際には、この決断を先延ばしにしていることが多いのではないのでしょうか。その背景には、そもそもどうしたら農業経営を継ぐことになるのかといった、承継の定義自体がいまいなことがあるようです。

### 日本の農家の現状

2017年以降、団塊世代（1947～1949年生まれ）が70歳を迎え、一気に世代交代が進むと同時に離農も進むと予測されます。JAの正組合員も、70歳以上が全体の

46%を占めています。国が力を入れている農業法人は増えてはいるものの、全体の割合としてはまだまだ低く、離職率約4割というデータも出ています。新規就農者数は増えていますが、耕作放棄地の増加に歯止めがかからない状態です。だからこそ全国の農家で事業承継の取り組みを進めていく必要があります。

### 親世代、子世代でよく聞く声



親世代

- ・子どもに話を切り出すタイミングがなくて……。
- ・こんなに厳しい農業を子に継がせるのは……。
- ・経営の話をするのが難しい。
- ・子どもに任せられるのか、とにかく心配。
- ・何を教えればいいのか分からない。



子世代

- ・いつかは継がなければいけないだろうけど、どうしよう。
- ・農家の子としてはいろいろ思うところもあるけれど……。
- ・親とは違う経営をしたい。でも、親にはかなわない。
- ・親はまだ元気そうだし、継ぐという覚悟が決まらない。
- ・話し合いをしても、いつもけんかになっちゃう。

### 「後から」では家族が困る

父親が倒れてから、亡くなってから、では遅過ぎます。「親と話し合っておけばよかった」と後悔する前に話し合いをしておきましょう。

- 通帳、権利書、共済証書、契約書、発注書、請求書はどこ？
- 資材の購入先は？ 連絡先は？
- 機械の鍵はどなた？
- どうやってエンジンをかけるの？
- あの田んぼは誰の？
- 預かっているの？ いつまで？
- 借金が合った。知らなかった。
- お金のことがあった。知らなかった。分からないので、自分一人で管理する自信がない。
- 確定申告はいつまでにやるの？ 複式簿記って？
- 相続税、贈与税って何？
- 栽培だけでも手いっぱいなのに、販売・加工はどうしたらいいの？
- 子育てで忙しくて奥さんも手伝ってくれない……。
- 消防団も地域の祭りも自治体の役員も……。
- 分からないことばかりの状態でも本業の仕事をやりがち引き継げるのか？
- 種まきは待ってられない。
- 収穫も待ってられない。

## 実践!

### ステップを踏んで事業承継に取り組みましょう

事業承継は継ぐ側、継がせる側が意欲的に取り組んでこそスムーズに進むことが理解できたでしょうか。そして実際に行動することが肝心です。

- STEP 1** 話し合いのルールを確認する 親子で話し合う際のルールを作成し、協力しながら承継を進める土台を共有しましょう。
- STEP 2** ライフプランを立てる 農業に限らず「家族のこと」「お金のこと」について今後のライフプランを考えましょう。
- STEP 3** 経営や実態を把握する 資産や労働力、機械装備に何があるかなど、家の現在の農業経営の実態を知りましょう。
- STEP 4** 事業承継タスクを整理する 「人」「物」「お金」「情報」「顧客」を承継するために、具体的かつ実効性のある課題を考えましょう。
- STEP 5** 事業承継計画を作成する 着実に事業承継を実行できるように、「いつまでに」「何をするか」の10年計画を立てましょう。

事業承継ブックより引用、改変

### 早めの承継は大きなチャンス

日本の農業の約98%は家族経営です。親元就農にはメリットがたくさんあります。

- 土地、農機、施設を引き継ぐことで初期投資が抑えられる
- 栽培技術のノウハウを一から受け継ぐことができる
- 親が築いた顧客、地域からの信頼を引き継ぐことができる
- 長期的な視点で経営判断ができる
- 一番大事にしたいこと（経営理念、存在意義や誇り）を守ることもできる
- 周囲の人々（親族、従業員、取引先、地域の人）が納得できる承継である

農業経営の可能性も膨らみます。多角化や複合化、コンピューター技術を取り入れるなどベンチャー的チャレンジも、ゼロからのスタートではない分、取り組みやすいといえます。

### 必要なら第三者の協力を

事業承継は親が元気なうちに行うのがベスト。事業承継のタイミングは、実は「今すぐ」です。親が亡くなってから子が後を継ぐのは、事業承継というより相続です。考え方も根本的に違い、受け身になりがち。対して、事業承継は積極的に経営を引き継ぐという意思の表れであり、能動的。事業（農業）に取り組むやる気も違ってくるはず。とはいえ、いざ事業承継の話になると親子では関係が近過ぎて、冷静に話が進まないことってありませんか。そんなときフォロワー役として当事者以外の家族の役割も重要ですが、第三者に仲介してもらうこともお勧めです。全国のJAでもTAC（地域農業の担い手）に出向くJA担当者を中心に事業承継支援の取り組みが広がってきています。お近くのJAにご相談ください。

大事なものは、両者がテーブルに着くところから。



事業承継ブック

～親子間の話し合いのきっかけに～

2017年1月発行（JA全農）。継ぐ側、継がれる側どちらからも事業承継の内容や必要性が理解できるよう「準備編」と「実践編」の2部から構成されています。詳細は以下よりご参照ください。  
<https://www.zennoh.or.jp/tac/business.html>

## 平成30年度

# 新入職員紹介

4月1日をもちまして、15名の新人職員が入組しましたので組合員の皆様にご紹介いたします。それぞれの「抱負」「目指すJA職員像」をボードに手書きで記入してもらいました。

①生年月日 ②出身地 ③出身校 ④趣味・好きなもの ⑤特技・PRポイント



おおはし やよい 営農振興部  
大橋 弥生 担い手グループ

- ①1996年3月18日 ②北見市
- ③東海大学 国際文化学部
- ④運動すること
- ⑤元気、明るい、あきらめない

おにつか ゆうた 組合員ふれあい室  
鬼塚 裕太 ふれあい相談東グループ

- ①1995年8月6日 ②網走市
- ③札幌大学 地域共創学群
- ④ドライブ、食べること
- ⑤笑顔



なる おか そうせい 販売企画部  
成岡 奏星 企画開発グループ

- ①1990年8月12日 ②札幌市
- ③北海学園大学 経済学部
- ④食べ歩き、ギター
- ⑤背の高さ



たちばな いつき 購買部  
橘 一輝 資材推進グループ

- ①1995年9月15日 ②北見市
- ③北見工業大学 工学部
- ④スノーボード
- ⑤剣道



ぬまた ゆりな 金融共済部  
沼田 ゆりな 総合渉外課

- ①1995年6月13日 ②北見市
- ③北海学園大学 経営学部
- ④食べること、体を動かすこと
- ⑤笑顔



おおひら たくと 組合員ふれあい室  
大平 卓人 ふれあい相談南グループ

- ①1994年10月6日 ②札幌市
- ③東海大学 生物学部
- ④家庭菜園、釣り、アニメ鑑賞
- ⑤早食い



ふじた かほ 販売企画部  
藤田 夏帆 野菜果実グループ

- ①1995年10月12日 ②札幌市
- ③北海学園大学 法学部
- ④インコが好き
- ⑤バドミントン



やまぐち だいき 販売企画部  
山口 大貴 組織振興東グループ

- ①1994年12月16日 ②江別市
- ③北星学園大学 経済学部
- ④映画鑑賞、ゲーム
- ⑤笑顔





すぎ さわ しん や  
杉 沢 伸 弥 金融共済部  
総合渉外課

- ①1998年4月30日 ②北見市
- ③JAカレッジ（北見緑陵高校）
- ④スポーツ全般、音楽を聴くこと
- ⑤真面目、コミュニケーション力

むら い まさ のぶ  
村 井 雅 直 金融共済部  
端野支店

- ①1995年12月24日 ②北見市
- ③札幌大学 地域共創学群
- ④スポーツ、買い物、テレビ
- ⑤シーズのすそ上げができます



た なか り ほ  
田 中 里 歩 購買部  
生産資材グループ

- ①1998年8月4日 ②北見市
- ③JAカレッジ（北見緑陵高校）
- ④読書、音楽鑑賞
- ⑤絵を描くこと



う さ もも か  
宇 佐 百 華 金融共済部  
上常呂支店

- ①1997年8月26日 ②美幌町
- ③北海道武蔵女子短期大学 英文学科
- ④音楽を聴くこと
- ⑤最後までやりとげること

## 新入職員が農薬配送実習を行いました



例年3月上旬から、新人研修の一環として新入職員がJA購買部にて農薬配送を行っています。

今年度も資材店舗などに分かれ、先輩職員の指導のもと、仕訳や積み込みなどを手伝いました。

農薬配送実習終了後、3月26、27日にはJAオホーツクグループの新採用職員研修に参加し、新社会人としての心得やマナーなどについて指導を受けました。今後も、JAカレッジでの研修のほか、JA理事宅で春と秋に農家実習などを経験する予定です。組合員の皆様におかれましてもご指導の程、宜しくお願い致します。

みなさん、これから  
よろしくおねがいます！



し みず ふう か  
清 水 風 花 金融共済部  
留辺薬支店

- ①1997年12月10日 ②北見市
- ③北海道武蔵女子短期大学 英文学科
- ④スポーツを見ること
- ⑤責任感の強さ



たか はし くれ あ  
高 橋 紅 杏 販売企画部  
玉ねぎグループ

- ①1998年2月1日 ②大空町
- ③北海道武蔵女子短期大学 教養学科
- ④パズル
- ⑤元気



おお の りょう  
大 野 涼 購買部  
北見端野資材店舗

- ①1998年9月18日 ②北見市
- ③JAカレッジ（北見緑陵高校）
- ④音楽を聴くこと、スポーツ
- ⑤あきらめない心



当JA管内温根湯地区の甜菜共同播種集団はこのほど、甜菜の播種作業を終えました。組合員や日通の22人が作業を分担し、15日から23日までの9日間かけてペーパーポットに丁寧に播種しました。ポットは温根湯、留辺蘂地区の利用者のハウスに引き取られ、春の定植に向けて育苗されます。



▲丁寧に作業を行う生産者のみなさん

JA担当者は今年の作付けについて「甜菜の面積は減少傾向にあるが、少しでも収量が向上するように生産者・関係機関と連携していきたい」と話しています。

温根湯、留辺蘂の両地区の甜菜生産者は63戸、作付面積は約401ヘクタールを見込んでいます。

(菊池 光祐)

**西地域 温根湯** **甜菜の播種作業を終える**



▲実物を手に取りながら正品の基準を確認する生産者のみなさん

**東地域 北見** **実物を手に 正品基準を確認**

きたみらい野菜振興会茎葉菜部会は3月22日、北見市とん田西町の竹中義一さんのハウスで越冬ねぎの目均らし会を行い、生産者と職員ら13人が参加しました。

当JA地域の越冬ねぎ栽培面積は55.8㍓で、9戸が生産しており、北見のほか道内主要都市に出荷されています。

当日は出荷を目前に控え、越冬ねぎの出荷規格や段ボールへの詰め方を野菜果実グループ松本職員が説明。実物を手に取りながら正品の基準を確認しました。

(高田 陽介)



**地 域 だ よ り**



JAきたみらい組合員ふれあい室は3月26日、センター事務所東地域を対象にGAP説明会を開催し、生産者69人が出席しました。

説明会では「GAPをめぐる情勢と取り組みの意義」、「GAPの取り組みから認証取得まで」、「環境保全型農業直接払交付金のGAP取り組みについて」を説明し、多くの出席者が真剣に耳を傾けていました。

情勢と取り組みの意義について説明した普及センターの伊與田（いよだ）竜主任は管内のJGAP、ASIAGAP取得農場の事例から、「GAP導入によるメリットとして、トレーサビリティをしっかりとすることで営農改善に繋がる。オホーツク農業の競争力向上に向けて、GAPへの取り組みは持続可能な強い産地づくりになる」と話しました。

なお、同説明会は27日に南地域を対象に訓子府地区事務所、28日に西地域を対象に相内地区事務所でも行われました。

(高田 陽介)

**東地域 北見・上常呂・端野** **GAP説明会に69人が出席**



▲取得農場の事例について説明する普及センター伊與田氏

**南地域 訓子府** **土壌凍結によって生産性の向上を図る**



▲土壌凍結試験について説明を聞く参加者

当JA管内訓子府町公民館で3月22日、土壌凍結深制御技術成果発表会を開催しました。生産者や関係機関約70人が参加し、普及センターや北見農業試験場の職員らがそれぞれ取り組んできた成果について報告をしました。

訓子府町4Hクラブも発表を行い、「実際に部員が実践し土壌凍結を促進することで、砕土性・排水性や窒素成分の流亡の低減等に効果がみられ、収量の増加につながった。この結果を普及させるためにJA作物別総会やSNSを用いて凍結深度計の普及を行っている」と3年間かけて行ってきた調査について報告しました。

参加者からは多くの質問が挙がり、活発な意見交換会の場となりました。

(菊池 光祐)

きたみらい  
青年部



顔と名前が分かる  
ように

北見地区・美里  
安斉 亮一さん(35歳)

- 趣味は？  
ギター・機械工作・読書
- 奥様との出会いは？  
結婚してちょうど10年になります。25歳の時に、当時の青年部支部長の紹介で知り合いました。
- 農業にかける思いは？  
食べてくれる人のことを考えながら、作物を大切に作っています。
- 今後の抱負は？  
青年部全体で行うソフトボール大会や道内視察研修に多くの部員に参加してほしいと思います。地域が違っても、年に一度しか会えない人もいます。きたみらい青年部として一組織の意識を持って、部員同士で顔と名前が分かるようになることを願っています。

今回はJAきたみらい青年部長の安斉亮一さんに登場いただきました。(高田 陽介)

◆ご出身、現在に至るまでは？

実家は端野町の農家で三姉妹の長女として生まれました。一つ年上の夫とは青年団の活動で出会い、昭和59年に結婚。2人の男の子に恵まれ、長男は後継者として家の仕事をしてくれています。長男夫婦とは別の家で暮らしていますが、2人の孫が時々遊びに来ます。もう少しで3人目も生まれるので楽しみです。

◆ご自身の性格は？

あまり自分から話すほうではないので、人の意見を聞いて物事を決めることが多いかもしれません。良く言えば柔軟なタイプということですかね(笑)

◆趣味は？

子どもたちが手を離れてからは、夫とジムに行くようになりました。夏場はなかなか行けませんが、冬になると頻繁に通って体を動かしています！過去には入院したことなどもあったのですが、ここ何年か病院にもかからず、いたって健康なので、この体調を維持するのが目標です。

◆組織活動の魅力、今後の抱負は？

みんなの話を聞いたりするのが楽しくて、女性部に加入した時から今まで、なるべく多くの活動に参加してきました。女性部活動のいいところは、一人ではなかなかできないことがみんなと一緒に出来ることですね。これからもそんな女性部活動が続けばいいなと思います。

Pretty Woman  
ウーマン



一人でできないことを  
みんなで

端野地区・川向  
あけみ  
松下 明美さん(58歳)

今回は女性部副部長の松下さんに登場いただきました。(石井 睦美)

わが家のアイドル

大きくのびのびと明るく育て

春の青空が広がる3月31日、高橋家を訪ねるとお父さんと一緒に昊雅くんが出迎えてくれました。

好きなテレビは『いないいないばあ』で、好きな曲「ブンパボン」が掛かると嬉しくなって踊ったりします。

家の中を走り回ったりと元気一杯で、外遊びが好きです。トラクターやトラックなど大きな車が大好きで、「ブーブー」と言ってはしゃぎます。

最近は大人のすることをマネするようになり、おばあちゃんが電話をする様子をおもちゃを使って再現。また、飼い猫「ミーコ」と飼い犬「ハーレー」にエサをあげてみたくなくてマネしたり、おばあちゃんと一緒にだきしめたり、なでたりと2匹を可愛がっています。

そんな昊雅くんにお父さんとお母さんは「昊の文字には「大きな空」という意味があり、自然に触れ合って、大きくのびのびと明るく育ててほしい」と話してくれました。

昊雅くんは高橋英雅さん・美歩さん夫妻のお子さんです。(高田 陽介)



端野地区・協和  
くうが  
高橋 昊雅くん  
(1歳9ヵ月)

家族が支えた競走馬の育成

かつて農耕馬は、トラクターが導入されるまで、農業者の貴重な労働力でした。時代が変わるなか、英二さんは、家族の理解を得ながら、馬との絆をより強め、ばんえい競馬の競走馬の育成を手がけました。

ばんえい競馬場に入りする友人の勧めに後押しされ、3畝ほどの水田圃場を運動場に競走馬の育成を始めました。その後、英二さんは「自宅周辺の住宅が密集して、そろそろ潮時ではと思い、25年間の競走馬の育成から身を引いた」と大きな決断に至りました。

英二さんは「いい時に、(馬を)放しづらいもので、その繰返しだった」と手塩にかけた馬を送り出した心境を振り返ります。

夫に寄り添ってきた好子さんは「家族4人で競馬場に応援に行きました。馬券を買うのも楽しみに」と同時に思いを馳せていました。

旅行がふたりの楽しみ

一昨までは、友人夫婦と2組4人で、北九州・沖縄・和歌山を旅行してきました。

お二人は「昨年の九州一周5泊6日のツアーに夫婦4組8人で参加、大勢なので楽しさも倍増でした」と笑顔で話します。

好子さんは「若夫婦の農作業を手伝って、温泉や旅行を楽しみたい」と今年予定の東北旅行に思いを巡らせていました。

(本多 勝彦)



ながよし夫婦

旅行は、今年も大勢で  
楽しみたい!

相内地区・東相内  
もろはし えいじ  
諸 橋 英二さん(78歳)  
好 子さん(76歳)

# INFORMATION

## ～続・今こそJA～ 【第6回】JAの地域貢献 ③

JAは地域住民に対して様々なサービスを行っています。北海道内にはJAの生活店舗や金融機関、ガソリンスタンドしかない市町村が全体の約半数に及んでおり、JAが住民の生活において重要なインフラとなっています。また、JA青年部が主体となって小学生等を対象とした農業体験などの食農教育にも取り組んでいます。さらに農産物の収穫を終えた毎年10～11月頃には各地のJAで大収穫祭や農業まつりなどのイベントが開催されます。JA毎に内容は異なりますが、地元産農産物の即売など様々な催し物が行われています。こうしたサービスのすべてがまさにJAが行う地域貢献なのです。

JAはもちろんのこと、連合会も様々な地域貢献を行っています。JA北海道共済連では昭和50年度以降、北海道内の自治体に約200台の救急車を寄贈、さらに交通安全啓発資材の配布、被災者に対する仮設住宅やブルーシートの貸与、AED（自動体外式除細動器）の設置・活用

を行っています。また、JA北海道信連では、平成20年度より全道約1,100の小学校を対象に農業の理解に資する補助教材を贈呈しているほか、食農教育支援や地域での清掃活動に取り組んでいます。

地方における人口減少が叫ばれているなか、地域の生活を支える頼もしい存在であり続ける。JAの地域貢献は様々な形で行われているのです。



▲JA共済連の救急車贈呈式

## 知って納得JA

### —協同組合の力—

Q JAグループが広報活動をしているのはなぜ?

A JAの事業や活動を紹介し仲間の輪を広げるためです。

JAグループの広報活動には二つの目的があります。一つはJAの組合員の皆さんに、JAの事業や活動を知らせること。もう一つは、地域の皆さんにJAの取り組みを知らせることです。

JAではさまざまな事業や活動を行っており、JAの広報誌や支店だよりなどを通じて地域の皆さんにお知らせしています。また、日本農業新聞や、家の光協会の定期刊行物などを通じて、全国のJAの仲間の取り組みも伝えていきます。

そして、JAの事業や活動は、地域の皆さんも幅広く利用・参加することができます。地域を支えるJAの取り組みをより広く知ってもらい、地域に仲間の輪を広げる。これもJAグループの大事な広報活動の目的です。

(監修=広島大学 助教 小林元)



耕そう、大地と地域の暮らし。

## JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。  
JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。  
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトを「ご覧ください」。

## JA北海道中央会



2月に、児童養護施設との調理実習体験「おとなの食育」を開催しました。興正こども家庭支援センターと共催し今回で5回目。

高校卒業後一人暮らしをしても規則正しい食生活を送ってほしいという趣旨で実施しています。前半は札幌消費者協会札幌ポトフの会の吉田講師より、身体に必要な栄養素や食品選びの考え方を学び、後半は料理教室を開催。参加児童は「調理方法など、わからないことを学べてとても良い機会だった。」と感謝の気持ちを話してくれました。



## JA北海道信連



JAバンクを広く知ってもらおうと、3月の札幌ドームでのファイターズの試合にブースを出展しました。

当日は、春のキャンペーンへ応募された方によりグッズを、JAバンクのアンケートに回答された方に試合の観戦チケットを抽選で贈呈する等、JAバンクのPRに取り組みました。  
今後、様々なスポーツとの連携支援等を通じて、JAバンクのファンづくりに向けて取り組んで参ります。



## ホクレン



社会・地域貢献活動「シースプロシエクト」の一環として、興正こども家庭支援センターとの共催で、児童養護施設などを集立つ高校生たちを対象に「おとなの食育」もつと牛乳を飲もう！マナー講座」をホテルオークラ札幌で開催しました。北海道の酪農、牛乳・乳製品についてや、ナイフやフォークの使い方など基本的なマナーを学びました。(この取り組みは、2014年から継続して実施しており、今年で5回目になります。)



## JA共済連北海道



数多く実施している地域貢献活動を広く知ってもらえるよう、ロゴマークを制作しました。ロゴマークに描かれた日本地図とそこから生える新芽には、全国各地の活動が地域に根付くようにという思いが込められ、手を取り合いながら歩く「貢献」の文字は地域の皆さまとJA共済が支え合う姿をイメージしています。JA共済が展開する地域貢献活動はWEBサイト「ちいきのきずな」で紹介しております。



## JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、「広報誌」すまいる」を発行しております。  
年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。  
ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非「一読ください」。





# INFORMATION

JA北海道大会実践フォーラム  
 パネルディスカッション  
**「協同の力で実現する  
 新規担い手倍増に向けて」②**

「協同の力で実現する新規担い手倍増に向けて」と題したパネルディスカッションの内容を3回シリーズでご紹介します。



**小林 国之氏**  
 北海道大学 准教授

新規参入者支援の話に入りますが、宮下さんにJA けねべつがなぜこんなに多くの新規参入者を受け入れることができたのかご自分の経験も踏まえながらご意見を頂けますか。

**宮下 道男氏**

栗山町農業振興公社  
 就農支援アドバイザー

計根別農協さんは平成27年から自ら出向く方針に転換して、新農業人フエア等に参加されています。やはり農業に関心がある方に農業や地域の良さを理解して頂くことが重要だと思います。けねべつではその



結果、たった5年間で13戸の方が新規就農しています。私どもの栗山町でも平成25年より新農業人フエア等に参画しており、その結果、たった4年間で12戸の新規参入農家を取り込みました。出向く場合は、農業に関心がある方に対して、しっかり農村生活・農業を説明できる説明者の育成が大事です。



**中瀬 満氏**  
 JAけねべつ 参事  
 (事例発表者)

小林准教授 イベントに出向いてもブースが閑散とするといった話もよく聞きます。正直、計根別という地名は認知度も高くないと思いますが、何が農業に関心のある方を引き付けていると思われるか。

小林准教授 宮下さんは全道、全国で就農希望者の話を聞く機会が多いと思いますが、中瀬参事のお話を受けて、大事と思うポイントはありますか。

小林准教授 農業経営者を増やすには、家族経営や経営体も大事ですが、それ以外の多様な農業の担い手の形を増やし、定着させる必要もあると思います。近江さんからその点について一言頂けますか。

近江代表 皆さんご存知の1丁大手企業に勤める20〜30代の方が、今私が住む浦幌町に10〜20人来ていますが、彼らは10年後、20年後、A1やロボットが進化すると東京で仕事がなくなり、もしかしたら自分の食べるものは自分で作るという根本的な考えに立ち戻るのではないかとこのことを想定しています。そうなる、彼らは本業を持ちながら、副業として地域で仕事を探し始めます。既に大手企業は副業を認め始めており、この流れに、地方が戦略的にメスを入れていくことが、農村地域に人が住み続けていく一つのモデルづくりに繋がると考えております。

小林准教授 経営者だけでなく、色々な形で酪農や地域の産業に関わる仕組みも必要だと思います。これからの北海道農業、農村の担い手とは、計根別の地域から見るとどのような人たち、関係が想定されますか。

中瀬参事 私が思う担い手づくりの基本は、仲間をどういう風にしていくかということかと思えます。農業に携わる方たちの仲間づくりが、最終的には担い手の確保対策に繋がっていくのではないかと考えております。

宮下氏 やはり、住環境も含めた受入側の体制が整備されている地区には紹介しやすいです。就農を希望される方は安心してその地域へ行きたいと思えますし、それに加えて、親身になって説明できる方が説明員として来ていることが重要なのではないかと思います。



**齊藤 和弘氏**  
 北海道農協青年部協議会 顧問

小林准教授 齊藤さんにお聞きしたいのですが、受け入れ側として整備しなければならない点について何かお考えはありますか。

小林准教授 近江さんは道外から多くの方を受け入れられておりますけれども、都市から人を呼んで活動をされる中で、今思うこと、伝えたいことがあれば、お聞かせ願えますか。

小林准教授 今のお話を受けて、地域の担い手をご考え、またそれをどう増やしていけば良いのか、石田参事に伺いたいと思います。



**石田 健一氏**  
 JA北海道中央会 参事

の方は、自分の親の経営が有るので水田、畑作、酪農の経営体に入る方が8割を超えます。一方、外部からの新規参入者は、ここ3年の間100人を超え、増加していますが、農地などへの大規模な投資が難しく、投資額が500万円以下の方が3割であり、経営形態で言うと、野菜がら割弱という状況です。これは中々大きな課題でして、これから新規就農に促わ

れず、経営者以外に農業を色々な形で支える担い手を増やすという方向性も必要かと思えます。



小林准教授 齊藤さんもホームステイの受け入れを多く行われておりますが、やはり担い手倍増に繋がる一つのきっかけになるものとお考えですか。

齊藤顧問 先日、小林先生からお願ひされまして、大学生をホームステイに受け入れました。その子も最初はもじもじしていましたが、終わる頃には、はきはきと楽しくそうにしています。こういう体験も踏まえた上で、結果的に農業者になることが全てではないと思いますが、将来に繋がる取り組みであると僕は感じます。



**近江 正隆氏**  
 株式会社ノースプロダクション 代表取締役

東京では命の糧は一つも生み出されません。東京にいると、北海道の農村、農家さんたちを自分事と考えるような実体験もなく、イメージが湧きません。そこでは家族のような繋がりを作るという意味で、ホームステイを行っております。

昨年十勝にホームステイで来られた大阪の高校生が、来年池田町の酪農家さんに就職する予定です。

農業、農村、農家さんたちが持つ力には、何か人を揺り動かす大事なものがあって、都会の若者たちはそこに飢えています。そこに触れさせることで、将来的な担い手に繋がれると感じます。

# INFORMATION

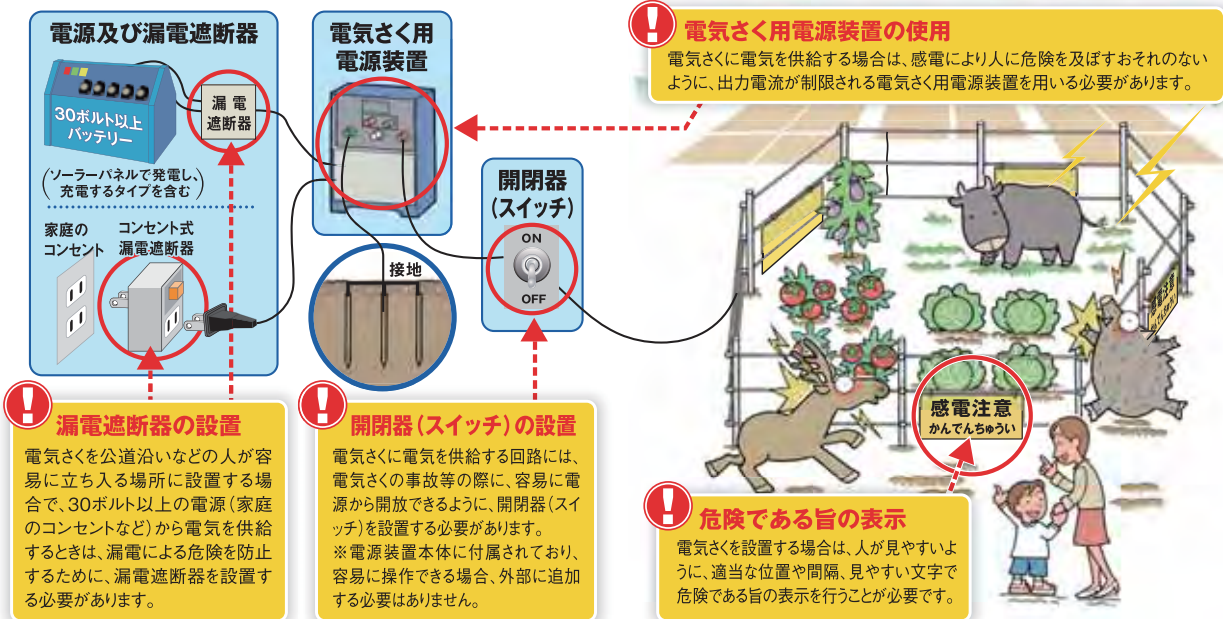
## 「電気さく」施設取扱にご注意ください

### 「電気さく」とは？

- 田畑や牧場などで、高圧の電流による電気刺激によって、野生動物の侵入や家畜の脱出を防止する「さく」のことで、
- 「電気さく」は、人に対する危険防止のために、電気事業法で設置方法が定められています。

### 「電気さく」を設置する際の主な注意点

家庭用電源から直接、電気さくに電気を供給させることは絶対に行わないでください。  
人や家畜を死傷させる事故につながるおそれがあります。



「電気さく」の設置方法に関するお問い合わせ先：北海道産業保安監督部 (011-709-1795)

## 北海道産業貢献賞<農業関係功労者> 受賞おめでとうございます



北海道では多年に渡り本道の産業発展に貢献され、その功績が顕著な方を産業部門別に表彰しています。JAきたみらい管内から1名の方が長年の功績を認められ受賞されました。

### 地域農業の発展のために

清井さんは平成14年に執行された農業委員会委員選挙において、地域の信望を得て農業委員に就任し、以来5期15年に渡り、訓子府町における農業の発展と担い手の育成にご尽力されました。

また、平成20年から6年間を会長職務代理、平成26年から会長を3年間務めました。

就任中は常に農地行政の大切さを主張し、農地利用の権利関係の調整を積極的に取り組み、担い手への農地の利用集積や集約化を進める等、農業経営の規模拡大を図ってきました。

清井さんは「私が長い間活動出来たのも妻の理解があったことであり、地域の方々のバックアップの基に成り立っていました。今は、後継者に経営移譲し、第一線を離れた身ですが、これからも出来ることがあれば、訓子府農業の発展のためにお手伝いをしたいと考えております」と受賞の喜びと、今後に向けた意気込みを話してくれました。

訓子府町西富 せい い とし ゆ き  
**清井 敏行氏 (66歳)**

## きたみらい酪農セミナーに 組合員ら89人が参加

きたみらい酪農振興協議会(溝井雅幸会長)とJAきたみらいは3月28日、きたみらい酪農セミナーをJA訓子府地区事務所で開き、組合員や職員、関係機関など89人が参加しました。

本セミナーでは、JA全農飼料畜産中央研究所訓子府分場長八木勝義氏とホクレン北見支所畜産生産課酪農担当主任技師城幸男氏を講師に招き、「哺乳管理の基本と最新情報」、「酪農におけるアウトソーシングについて」の2部構成で行われました。

前半の哺乳管理について、八木氏は初乳の重要性と代用乳の給与例などを説明。多くの参加者が真剣に話を聴いていました。



▲八木勝義氏の説明を聞く参加者のみなさん

## カーリング女子「LS北見」に JA加工品を贈呈

平昌冬季五輪カーリング女子で銅メダルを獲得したLS北見の祝賀パレードが3月21日、北見市内で行われました。当日は曇りつつない好天のなか、市民ら約1万2千人が詰め掛け、声援を送りました。

同日に行われた祝賀会にて、当JAからは労いと激励の意味を込め、きたみらいの加工品などを贈呈。西川組合長からは「オリンピックでの活躍はとても勇気を頂きました。地元の食材を食べて今後の活躍につなげてください」と選手のみなさんに伝えました。



▲本橋麻里選手(右)に目録を手渡す西川組合長(左)

好評 受付中 **タイヤ保管サービス**

**1シーズン保管料(1台4本) 2,000円(税込)**

※タイヤは洗浄し厳重保管、出庫時はタイヤワックスをかけてお返しします。  
※期間は、冬季11月～4月(夏タイヤ)と夏季4月～10月(冬タイヤ)の2シーズンとなります。  
※お預かり出来るタイヤは20インチまでの乗用系タイヤとなります(貨物トラックは不可)  
※タイヤ交換のピーク時には作業が混雑することが予想されますのでお早めにお申し込み下さい。  
※お預かり期間終了後、タイヤ履き替え時は別途交換料がかかります。

お預かり、交換場所は「JAきたみらい給油所」  
取扱店『訓子府整備工場』いずれの取扱店でもご指定できます! ※詳しくは最寄りの取扱店にお尋ねください。

取扱い店: 中ノ島SS ☎0157-31-1050 野SS ☎0157-56-4112  
上高島SS ☎0157-38-2421 内SS ☎0157-37-2519  
高島SS ☎0157-42-3164 高島SS ☎0157-45-2446  
訓子府SS ☎0157-47-4831 戸SS ☎0157-52-3869  
訓子府整備工場 ☎0157-47-4820

伝書鳩 WEBサイト  
「オホーツク特選街」掲載中!

きたみらい給油所のお得なイベント情報などを掲載しています!  
<http://denschobato.com/tokusen/hokuren-ss-kmi/top.tks>

JAきたみらい給油所 **4/30日 まで 春のカーケア キャンペーン**

①オイル・エレメント・タイヤ・バッテリーを特別価格にてご提供!!  
②タイヤご購入で交換作業・ホイールバランス料が無料サービス!!  
※前売タイヤの送料等は別途となります  
※大口店、調平等の特殊サイズによっては別途料金となる場合がございます  
③エンジンルーム・タイヤ摩耗等無料点検!!

**JAきたみらい 燃料自動車グループ**

# INFORMATION

## 第2回 理事会報告

3月20日、午前10時30分より第2回定例理事会が開催され、報告事項10件、決議事項13件が協議され、原案通り承認されました。

- 【報告事項】**
- ①全国監査機構期末監査報告について
  - ②平成29年度監査実施報告について
  - ③組合員状況報告について
  - ④財務状況報告について
  - ⑤平成29年度キャッシュフロー計算書について
  - ⑥人事の発令について
  - ⑦高齢者相談業務について
  - ⑧H29年産馬鈴しょ・玉ねぎの選果販売状況について
  - ⑨H29年産てん菜の仮精算について
  - ⑩生産資材拠点センター 感謝フェアの実施について
- 【決議事項】**
- ①平成29年度独立監査人の監査報告書について
  - ②平成29年度監事監査報告書について
  - ③出資減口について
  - ④固定資産の取得について
  - ⑤規程類の改正について
  - ⑥平成30年度経営定期点検実施計画について
  - ⑦役員報酬における理事・監事報酬総額の配分について
  - ⑧平成30年度給与の改定について
  - ⑨総代選挙の日程（案）について
  - ⑩平成30年度冬期地区別懇談会Q & Aについて
  - ⑪平成29年度事業報告（含む事業報告附属書）及び計算書類（剰余金処分案を除く）について
  - ⑫平成29年度剰余金処分（案）について
  - ⑬第15回通常総代会の招集及び総代会に付議すべき議案ならびに総代会参考資料について

## 24小学校向け「食農教材本」1市2町に1,203冊を贈呈

JAきたみらいでは、3月19日、北見市・訓子府町・置戸町の小学5年生を対象に食農の教材本を贈呈しました。

JAバンクグループでは、平成20年度より、全国の子どもたちに「食と農業、環境への理解」を広げていただく教材本等を作製しています。

今年の教材本「農業とわたしたちの暮らし」は、きたみらい管内24小学校、小学生用1,140冊、教員用指導書63冊が配布されました。

教材本の贈呈式では、北見市志賀教育長が「地域の基幹産業の教材として、有効に使わせていただきます」と謝意を述べました。

当JA佐藤常務は「子どもたちの実体験を通じて、農業を理解してもらおうことが大切ですね」と思いを伝えました。



▲佐藤常務(左)より志賀教育長(右)に教材本が贈られる

## 青森県の黒石市と平川市に芋玉2.1トンを贈呈

JAきたみらいは2月28日に黒石市、3月1日に平川市を訪れ、馬鈴しょ（スノーマーチ）1,800kgと玉ねぎ360kgを給食の食材として贈りました。

JA名に「みらい」を冠した全国7JAが連携して話し合う「JAみらいサミット」が

縁でJA津軽みらいと交流を深めています。

大坪専務は「未来を担う子どもたちが育っていけばうれしい。北海道の味を十分に堪能してもらいたい」と話し、平川市の長尾忠行市長は「子どもたちが大変喜びます」と感謝の意を表しました。




▲（黒石市にて）高橋市長（中央）に目録を渡す大坪専務（中央右）





▲（平川市にて）長尾市長（中央）に目録を渡す大坪専務（右）


## 退職のお知らせ


平成30年4月1日付の退職職員をお知らせします。旧JA入職年度と合併後の職歴、正職員としての在職期間（旧JA含む）を紹介します。在職中は、組合員皆様を始め、地域皆様の御厚情をいただき誠にありがとうございました。


 S53.4 端野農協入組  
H16.5 端野支所 支所長  
H22.5 金融共済部 部長  
H26.4 購買部 部長  
■在職期間 39年  
か の うちしげよし  
鹿野内茂義  
(購買部)


 S59.5 北見市農協入組  
H15.2 北見支所共済課 支所課長  
H17.5 北見支所 次長  
H21.6 組合員ふれあい室ふれあい相談6グループ マネージャー  
H25.5 組合員ふれあい室ふれあい相談東グループ マネージャー  
■在職期間 32年11ヶ月  
※退職者再雇用制度により在職  
にしむら ひろし  
西村 弘  
(組合員ふれあい室ふれあい相談東グループ)


 S60.4 置戸町農協入組  
H15.2 置戸支所畜産課 支所課長  
H21.6 組合員ふれあい室ふれあい相談畜産グループ 考査役  
H28.4 販売企画部畜産グループ マネージャー  
■在職期間 32年  
ほしが たけし  
星賀 武  
(販売企画部畜産グループ)


 S51.4 相内農協入組  
H15.2 相内支所生産資材課  
H21.6 組合員ふれあい室ふれあい相談2グループ 考査役  
H23.5 購買部資材西エリア マネージャー  
H28.4 購買部燃自西エリア マネージャー  
■在職期間 41年  
いちはら じゅんじ  
市原 純二  
(購買部燃自西エリア)


 S52.4 置戸町農協 入組  
H15.2 置戸支所総務金融課  
H17.5 金融共済部共済課  
H21.6 金融共済部共済課 考査役  
H28.4 金融共済部置戸支店 考査役  
■在職期間 40年  
さかもと かずみ  
坂本 和美  
(金融共済部置戸支店)


 S57.4 北見市農協入組  
H15.2 購買部 部長  
H16.4 畜産部 部長  
H21.6 営農振興部 部長  
H29.4 監査室 室長  
■在職期間 35年  
かわはら やすし  
河原 康司  
(監査室)

 S57.4 訓子府農協入組  
H15.2 営農部生産振興課 課長  
H22.5 営農振興部技術開発グループ マネージャー  
H26.5 組合員ふれあい室技術開発グループ マネージャー  
■在職期間 35年  
※退職者再雇用制度により在職  
しょうじ たかゆき  
庄子 隆之  
(組合員ふれあい室技術開発グループ)

 S51.4 端野農協入組  
H15.2 端野支所農産課 支所課長  
H16.5 端野支所 次長  
H20.4 農産部農産課 課長  
H21.6 販売企画部農産グループ マネージャー  
■在職期間 41年  
にしかわ ひろのり  
西川 博則  
(販売企画部農産グループ)

 S55.4 温根湯農協 入組  
H15.2 温根湯支所販売課 支所課長  
H20.5 温根湯支所営農販売課 支所課長  
H21.6 販売企画部組織振興西グループ マネージャー  
■在職期間 37年  
さとう のりお  
佐藤 則夫  
(販売企画部組織振興西グループ)

 S52.4 訓子府農協入組  
H16.5 訓子府支所農産課 支所課長  
H21.6 組合員ふれあい室ふれあい相談1グループ 考査役  
H22.5 購買部燃自南エリア マネージャー  
H27.4 購買部燃自東エリア マネージャー  
■在職期間 40年  
※退職者再雇用制度により在職  
かわい きよし  
河合 清  
(購買部燃自東エリア)

 H28.4 入組  
H28.4 販売企画部野菜果実グループ  
■在職期間 2年  
まつもと あつひろ  
松本 敦裕  
(販売企画部野菜果実グループ)

# まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



## 3月号まちがいさがしの当選者

3月号のまちがいさがしの答えは「3、5、6、9、12」でした。正解者50名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

( )内は地区名

- ・奥村 束紗さま (北見) ・戸田富美子さま (北見)
- ・田井 混人さま (上常呂) ・五十嵐心愛さま (端野)
- ・岡本さゆりさま (温根湯) ・苫米地秀昌さま (温根湯)
- ・大武 六花さま (相内) ・中尾のぶ子さま (置戸)
- ・佐々木健乃介さま (訓子府) ・濱野 慎悟さま (訓子府)

以上の方々には、JAきたみらいの「玉葱と牛すじのカレー」2箱をプレゼント致します。



## 応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。

抽選で10名の方に、JAきたみらいの「北見玉葱焼肉のたれ」「芳醇玉葱醤油」をプレゼント致します。

**雪** どけと共に本格的農作業の始まり。忙しさの中にちょっと心やすらく「おひさまサラダ」！楽しい話題をこれからもよろしくお祈りします。今回はひとつ見つけづらかったです。さすー！！

(匿名希望のたかゆきさんの奥さん)

いつも「おひさまサラダ」を楽しみにして頂きありがとうございます。

少しでも、皆さんが楽しみにして頂けるよう頑張ります。

**新** しい年度になり、新人職員と新組合員の明るい1年の始まりです。大雪、大雨と平成30年の始まりでしたが、残り少ない「平成」を明るい年に成ってほしいものです。

(置戸地区 仁木 義信さん)

「平成」も残すとこ1年余りとなりました。あっという間の30年でしたね。大震災や大水害が何回もあったけど、最後の1年くらい災害のない年があってもいいですね。

読者の声

**ト** ラクターの写真が出ているか必ず見ます。作業の写真がキレイで季節を感じるのを楽しみにしています。

(留辺蘂地区 村上 蓮くん)

これから、トラクターがたくさん働く季節がやってきたので、ドンドンとトラクターの写真が載って来ます。季節らしい写真を載せられるよう私たちも頑張ります。

**気** 温が一気に上り雪が融けました。ハウスの回りは水浸し、D型ハウスにも水が入りました。氷を割ったり、削ったりともう大変でした。

(匿名希望さん)

先日、季節外れの暖気で雨が降り、あちらこちらで小さな河川が溢れて畑や育苗ハウスにも水が入って、パワーショベルが水路の水を取り除いているのを何か所も見かけました。本当に大変な状況が起きました。皆さんお疲れ様でした。



シニア野菜ソムリエ kAORUの

## ベジタブルライフ

イラスト:小林裕美子

## キュウリ

～みずみずしさが涼を誘う夏野菜～

キュウリのプロフィール

- 【分類】ウリ科キュウリ属
- 【原産地】インド北部、ネパールのヒマラヤ山麓
- 【和名】胡瓜
- 【おいしい時期(旬)】5～8月ごろ
- 【主な栄養成分】カリウム、β-カロテンなど

### キュウリのチカラ



主成分は水分

95%以上が水分で、体を冷やす効果があるといわれているため、暑い夏の水分補給やほてりの抑制に役立つ。

カリウムが豊富

取り過ぎた余分な塩分を排出させる作用があり、高血圧や生活習慣病の予防に効果が期待できる。利尿作用もあるため、むくみの改善にも効果的。

さらにβ-カロテンも含有。免疫力を高め抗酸化作用。

### キュウリのいろいろ

加賀のキュウリ  
石川県の特産で長さ20～25cm、直径6～10cmほどの大型の大きいものは60g以上になる。皮は堅めだが、果肉は厚みがあって柔らかい。あん掛けや煮物、炒め物などにして食べる他、スープや酢の物にしても美味。

白いぼキュウリ  
現在の主流で市場の9割以上を占める。皮が薄く苦味が少なく、みずみずしく食べやすい。

いぼなしキュウリ  
表面がつるつるとしている。歯切れが良く特有の風味も少ないため、キュウリが苦手という人にもお薦めの品種としては「フリーダム」などが有名。

四角キュウリ  
見た目がとげとげしいのが特徴。果皮の色は濃緑で皮がちりめん状になっている。中国系の「四角(そうじょう)」という品種を改良したもので、皮が柔らかく果肉がしっかりとれているため、味が梁み込みやすく、漬物にすると美味。

馬込半白成(はんしろふしなり)  
相模半白成(ほろワイティ25)  
半白キュウリ(白キュウリ)  
皮が白みがかかった淡い黄緑色の歯切れが良く、生食はもちろんだ漬物もお薦め。

### 見分け方

おさがなるべく均一のもの

多少曲がっていても味は大きく変わらないは

皮が美しい緑色で持ったときに重みがあり、みずみずしいもの

白い粉の付いた「ブルーキュウリ」の場合は、全体に白い「ブルー」(果粉)が付いている方が新鮮

ブルーは表面を保護し水分の蒸発を防ぐ役割をしているよ

皮に張りがあり、イボがとがっていて果肉の堅いもの

※イボのない品種もある

### 保存方法

水にも熱にも弱いデリケートな野菜。水気をしっかりと拭き取り、ポリ袋またはラップに包んで冷蔵庫の野菜室へ。寒い時期は冷暗所でもOK

10～15度を保とう

急激な温度変化、特に低温には弱いので、冷やし過ぎは厳禁

長期保存する場合は、スライスして水分を絞って冷凍保存

### 楽しみ方・食べ方のコツ

サラダ、漬物、酢の物、炒め物など

漬物や酢の物にする場合は、調理する前に薄い塩水に漬けておくと、水分が抜け味が梁み込みやすくなる

天日で干すと、特有の青くささや苦味がやわらぎ、生とは異なる弾力がある。食感に炒め物、あえもの、漬物などに活用できる

色鮮やかにした場合は、塩を振ってからまな板の上で乾かし(極ずり)、煮早く熱湯にくぐらせるというよ

スライスして日なたで5～6時間ほど干す

### キュウリのヒミツ

「黄瓜」が語源?

インドでは3000年以上前から栽培の西アジアでも紀元前に定着。欧州には14世紀ごろに伝わった

昔の日本では黄色く熟したキュウリを食用にしてきたよ

日本へは19世紀ころ薩摩の栽培が盛んになったのは江戸時代後期から

キュウリの系統

- 白いぼ系
- 黒いぼ系
- ブルー系
- ブルー・ブルー系

黒いぼ系は皮が厚めで少し苦味がある。現在は栽培量が少ない

ブルー系は果物キュウリと呼ばれ、自然発酵させることで漬物に付く酸味が強い

# おひさまサラダ COOKING

♥おいしいもの大好き!♥



## 朝ご飯の献立例

- ・針野菜たっぷり  
ジャージャー麺①
- ・トマトジュース
- ・フルーツ入り  
ヨーグルト

## ① 針野菜たっぷりジャージャー麺

### 【材料：1人分】

- 中華麺……………1玉
- トマト……………1/4個
- ゆで卵……………1/2個
- 針野菜
  - キュウリ……………1本
  - ミョウガ……………2個
  - シュンギク……………1/5わ

### 肉みそ

- ひき肉……………150g
- てん麺じゃん……………大さじ1と1/2
- 豆ちじゃん……………小さじ1
- 砂糖……………小さじ2
- しょうゆ……………小さじ1
- おろしニンニク……………少々
- おろしショウガ……………小さじ1
- 塩、こしょう……………適宜
- 料理酒……………大さじ1
- 水……………3/4カップ
- がらスープのもと……………小さじ1
- 水溶き片栗粉……………大さじ1
- サラダ油……………大さじ1
- ごま油……………小さじ1

### 【作り方】

- ①フライパンにサラダ油を熱しひき肉を入れ、塩・こしょうをして炒める。料理酒、てん麺じゃん、豆ちじゃん、砂糖、しょうゆ、おろしショウガ、おろしニンニクを入れ、さらに炒める。水、がらスープのもとを入れ、水溶き片栗粉でとろみをつけ、仕上げにごま油を入れる。
- ②別鍋に湯を沸かし、中華麺をゆで、皿に盛り付け、肉みそ、針野菜、トマト、ゆで卵をのせて出来上がり。

### メモ

ゆで上がった麺にがらスープのもと(分量外)を少量入れ混ぜておくと、おいしさアップ

## 編集後記

- ・雪解けが進み、日差しに春の暖かさを感じる季節になりました。新たな出会い、別れが入り混じる時期となり、当JAには新採用職員15人を迎えました。フレッシュな顔ぶれを見るにつれ、決意を新たにすの思いです。
- ・ハウスのなかでは育苗管理が続いています。植付作業に備え、丹精込めた苗を本畑に送り出しましょう。(高田 陽介)

## JAきたみらい概要

(平成30年3月13日現在)

- ・組合員数(正) 1,676人
- ・組合員数(准) 6,372人
- ・組合員戸数(正) 1,011戸
- ・貯金 108,589百万円
- ・貸出金 11,895百万円
- ・出資金 4,900百万円